

平成24年度 北海道歯科医師会役員連絡協議会

出席 鍵谷隆一・竹内友康・九津見紳一郎・木村 悟・野崎岳央・山田貴文

挨拶

- **富野会長** 最近「医療とは」を論ずる時、経済情勢に重きを置く傾向にあるが、本来は国民の健康を保障するものであり、それについて論ぜられるべきである。歯科医師も「歯科を専門とする医師」という認識をもって医療にあたって欲しい。
- **大久保日歯会長** 代理として近藤勝洪日歯副会長から、11月7日に民主党の厚労部門ワーキングチームの会合で、70歳～74歳を2割負担にするか否かの議論が行われている旨、被災県3県では負担金免除になった人が多く受診し、特に歯科で医療費が大幅に伸びている旨などが述べられた。
- **高木日歯連盟会長** 次期参院比例選に石井みどり氏の推薦の決定について、これは民主党から自民党に転換したということではなく、衆参問わず会員はもとより、国民のために働いてくれるという人物本位の選定であったとの報告と今後は人脈を強化していくことが必要で、色々な政党幹部と会合を重ねていくと説明があった。

報告事項

1. **中央情勢報告** 柳川忠廣日歯常務理事から、税制問題に関しては日医会と協調して行っていく旨、役員改選にあたり大久保日歯会長に会長選立候補を強く要望することが決定された旨の報告があった。
2. **会務報告** 紺野純一道歯会専務理事より、がん患者への口腔ケアの推進、在宅歯科医療やフッ化物洗口等についての報告があった。
3. **道歯企画** 火災保険、自動車保険等の資料の配布があった。
4. **歯科国保組合** 戸田康夫歯科国保組合副理事長から、厚労省から組合員資格の適正な取扱いを求められたことにより、今後は2～3年毎に資格調査を実施する旨の説明があった。

特別講演

東京医科歯科大学大学院医療経済学分野川渕孝一教授から「医療経済学から見た我が国の歯科医療を考える～歯科再生のストラテジー」と題しての講演があり、歯科医療は経済の動向に左右されやすいのに対して医科は影響を受けることは少ない。しかし、医科にも医師不足という弱点がある。今後は両者が弱点を補うべく連携強化を図っては、との提言があった。